

環境報告書 2025

【令和6年度実績】



東京二十三区清掃一部事務組合

品川清掃工場



はじめに

品川清掃工場は、昭和 48 年 9 月に初代工場が開設して以来、現在の二代目工場に至るまで、50 年以上にわたり、当地でごみの中間処理を続けてきました。この間、地元の皆様方のご理解、ご協力に感謝申し上げます。

本報告書は、当工場をより知っていただくため、令和 6 年度の環境管理活動の状況や成果についてまとめたものです。ご一読いただければ幸いです。

東京二十三区清掃一部事務組合品川清掃工場の環境方針

基本方針

- 1 環境関係法令及び規制基準値等をはじめとする「品川清掃工場の操業に関する協定」等を順守します。
- 2 ごみの適正搬入を含めた適切な施設の維持管理とともに、それを担う人材の育成を進め、環境負荷低減と安定した工場の操業に努めます。
- 3 ごみ発電や地域への熱供給を安定的に行い、焼却灰の資源化を進め地球温暖化の防止と埋立処分量の削減に努め、持続可能な資源の活用を図り、環境保護に取り組みます。
- 4 し尿等の搬入・前処理を衛生的かつ効率的に行い、環境負荷低減に努めます。
- 5 環境目標を設定し、環境マネジメントシステムを運用してその達成を図るとともに、システムの継続的改善を行い、環境パフォーマンスの向上と汚染の予防を図ります。
- 6 この環境方針を職員及び工場で働く人に周知徹底するとともに、取組状況を積極的に区民等へ公表し地域において開かれた施設運営に努めます。

令和 7 年 4 月 1 日
東京二十三区清掃一部事務組合
品川清掃工場長

施設のあらまし

1 品川清掃工場（一般廃棄物処理施設）

しゅん工 平成 18 年 3 月

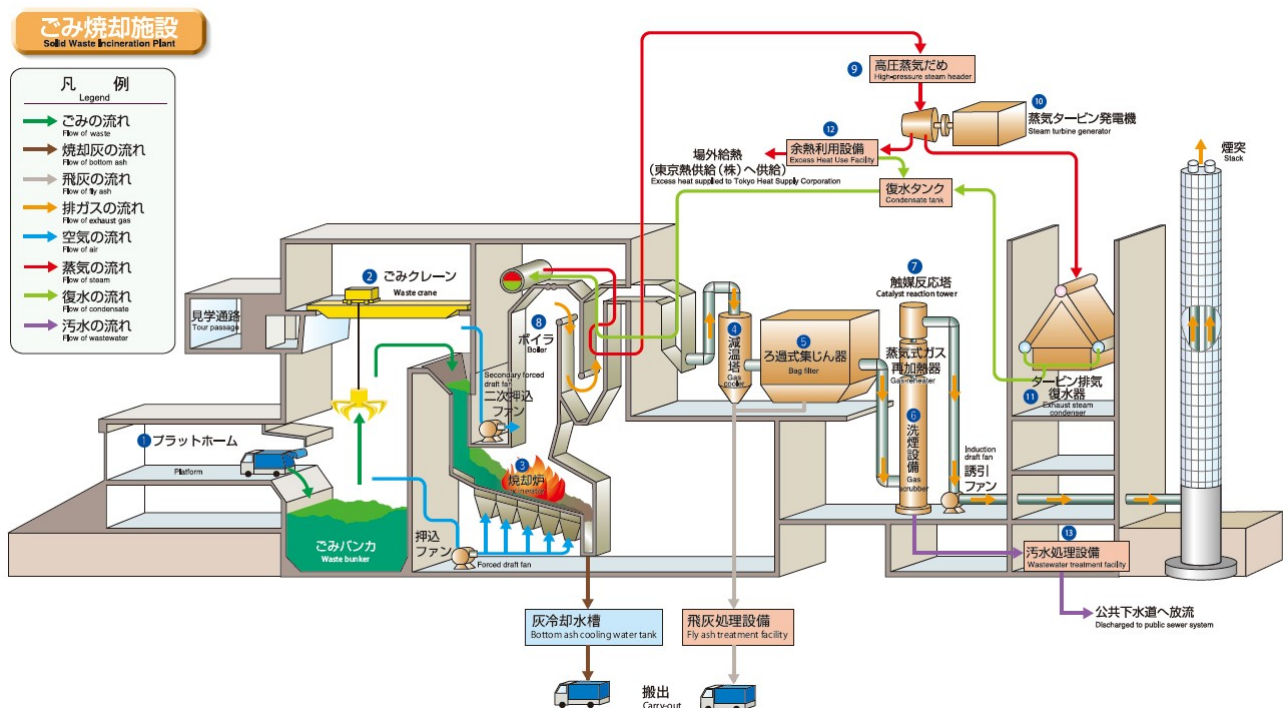
焼却炉	全連続燃焼式火格子焼却炉
	処理能力 600 t/日 (300 t/日×2基)
ボイラ設備	過熱器付自然循環式水管ボイラ
	最大蒸発量 48.7 t/h×2基
灰溶融炉	燃料加熱式灰溶融炉（燃料：都市ガス）
	処理能力 180 t/日 (90 t/日×2基)
	（平成 27 年 3 月より休止中）
発電設備	蒸気タービン発電機
	定格出力 15,000 kW
排ガス処理設備	ろ過式集じん器、洗煙設備、触媒反応塔
煙突	高さ約 90 m
建築面積	約 13,460 m ² （工場棟及び管理棟）
敷地面積	約 47,000 m ²

2 品川清掃作業所（し尿等の下水道投入施設）

しゅん工 平成 11 年 1 月

処理能力	100 t/日
主な施設	受入・前処理・貯留設備、古紙添加設備、脱水・貯留設備、希釈放流設備
公害防止設備	脱臭設備
建築面積	約 2,270 m ² （管理棟、投入棟、貯留棟、薬品棟、ポンプ棟他）
敷地面積	約 7,000 m ²

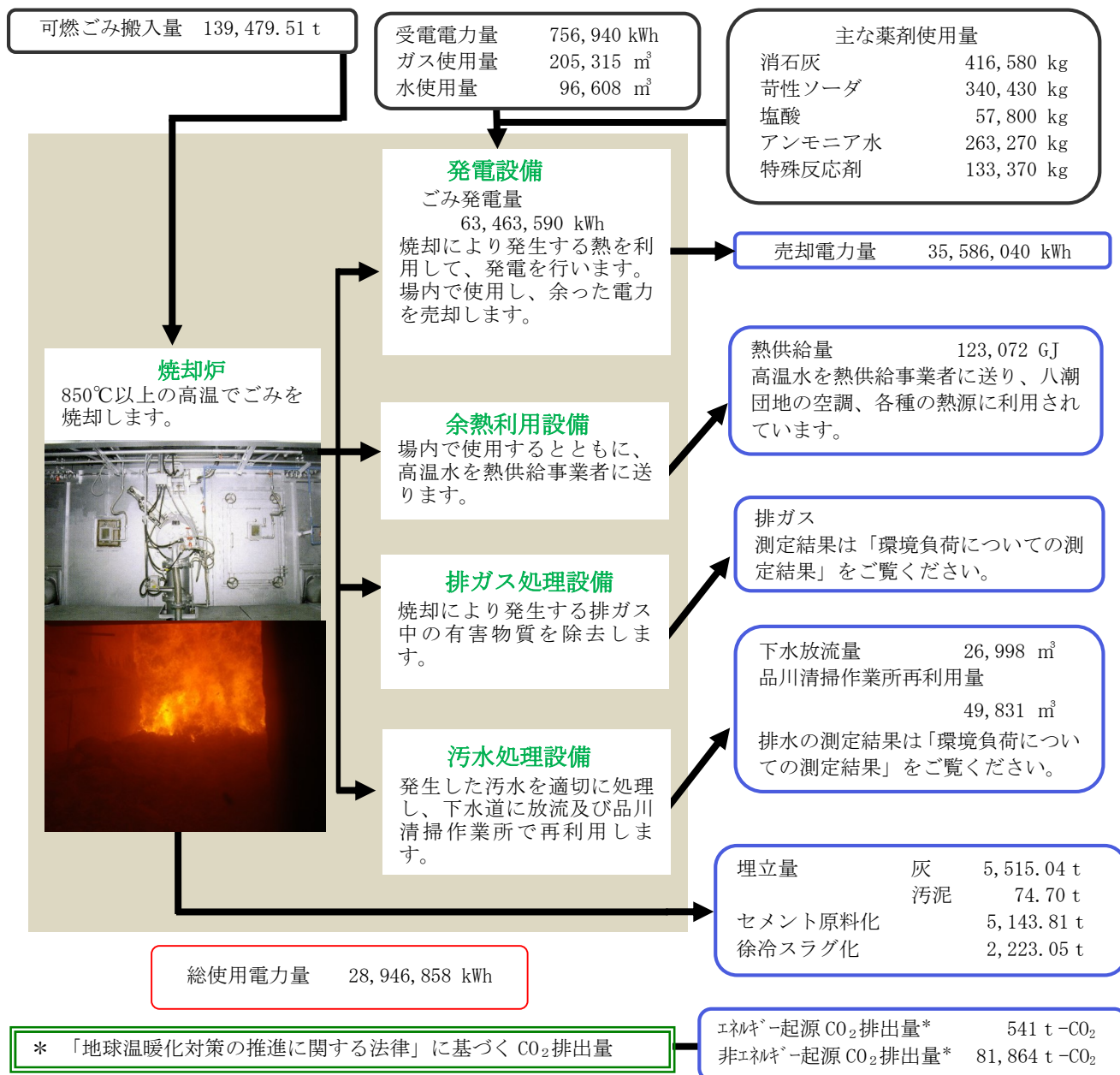
3 プラントの概要



工場の操業実績（令和6年度）

1 品川清掃工場（一般廃棄物処理施設）

品川清掃工場は循環型社会の形成に貢献するために、廃棄物処理による発電、熱供給等を行っています。品川清掃工場に外部から投入される資源（ごみ、電気、ガス、水等）と、品川清掃工場から外部に出て行く生成物（熱供給、排ガス、排水、灰等）の概要は、以下のとおりです。



2 品川清掃作業所（し尿等の下水道投入施設）

品川清掃作業所には、23区内で収集された家庭のくみ取りし尿や浄化槽汚泥、ディスポーザ汚泥等が搬入されます。

搬入されたし尿等に古紙の投入や薬剤添加などの一定の処理を加え、脱水機で固体と液体に分離します。液体は希釈して下水道投入し、希釈には品川清掃工場の放流水を使用しています。固体は、品川清掃工場で焼却します。品川清掃作業所に搬入されるし尿等の量は以下のとおりです。

単位：t

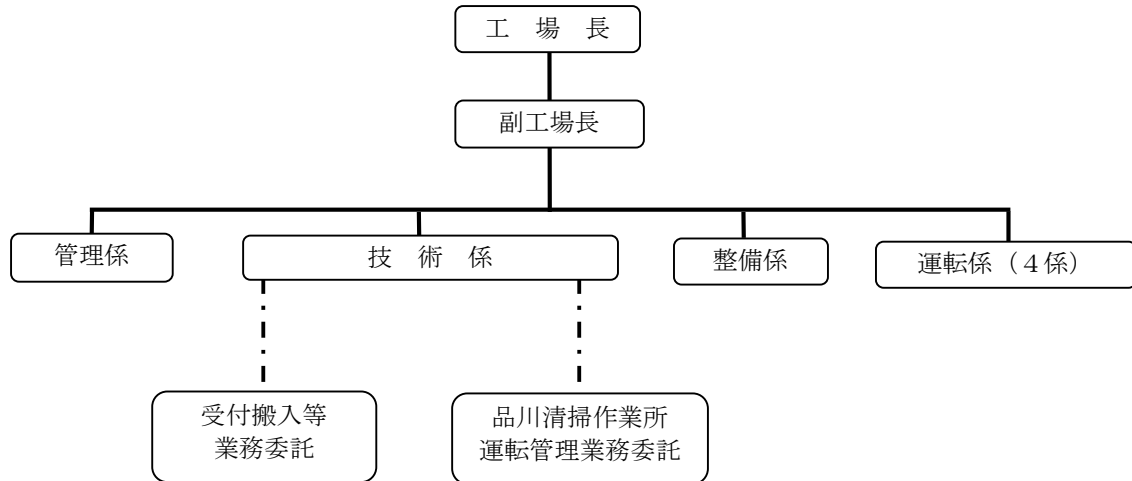
令和5年度末未処理量	し尿	浄化槽汚泥等	ビルピット汚泥等	ディスポーザ汚泥	汚水等	計
737.65	723.14	2,531.35	9.97	6,605.05	4,350.77	14,957.93

環境への取組

◆ 工場の組織

工場長をトップに職員と受付搬入等業務委託、品川清掃作業所運転管理業務委託受託業者で運営しています。係の構成は下図に示すとおり、管理係、技術係、整備係と運転係で構成されています。

このうち運転係は4係あり、係を交代しながら土曜日、日曜日、祝日を含めて昼夜24時間、焼却炉の運転・監視や点検などにあたっています。



管	理	係	：	人事・給与、文書管理、予算・決算・会計、契約など
技	術	係	：	廃棄物の搬入・灰の搬出、公害防止、見学案内、安全管理など 受付搬入等業務委託管理、品川清掃作業所運転業務委託管理など
整	備	係	：	施設・設備機器の維持管理・補修など
運	転	係	：	焼却設備の運転（監視・点検）

◆ 環境目標達成状況（令和6年度）

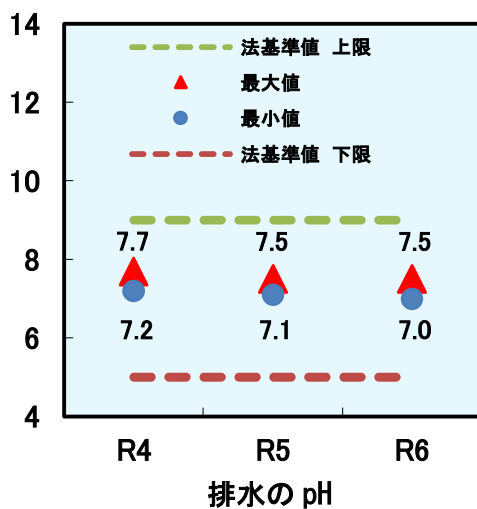
環 境 目 標	評 価 基 準	判定
グリーン購入法適合品の購入推進	購入時、グリーン購入法適合品が納品されることを確認する。	○
搬入物検査の実施	毎月搬入物検査を実施する（全炉停止や排出原単位調査実施期間を除く）。	○
工場放流水の有効活用の実施	品川清掃作業所の希釈水における工場放流水の有効利用の割合を95%以上に維持する。	○
機器補修依頼書の対応	機器補修依頼書の補修完了状況・未補修の際の対応方法が明確化されるようにする。	○
規制基準値の遵守	大気汚染物質濃度の1時間平均値が規制基準値以下であることを確認する。（2月に燃焼室ガス温度1時間平均値850℃を下回った。）	×

環境負荷についての測定結果（令和6年度）

清掃工場では、法基準値を守るだけでなく、より厳しい自己規制値を設定することで、環境負荷を低減しています。適切な運転管理に努め、自己規制値から逸脱しないよう常時監視し、公害防止を徹底しています。また、定期的に排ガス・排水等の測定を行い、規制基準値（法基準値または自己規制値）の順守状況を確認しています。（測定結果グラフは第三者機関の測定結果による年度最大値です。pHは最小値と最大値です。）

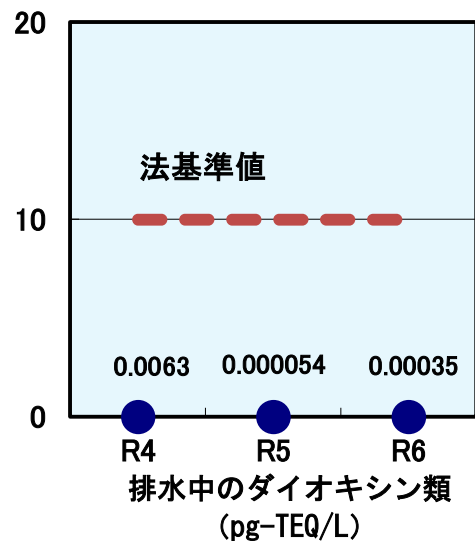
排水の pH、重金属

pH の令和6年度測定結果は7.0 から7.5 を推移しており、法基準値（5を超え9未満）を順守しています。重金属などの項目も全て法基準値を順守しています。



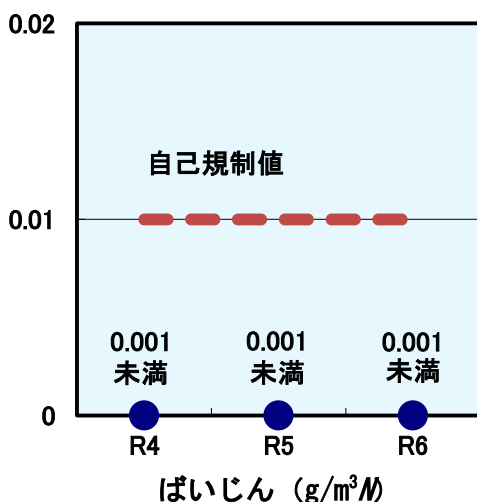
排水中のダイオキシン類

排ガス処理設備から生じる排水にはダイオキシン類が含まれます。ダイオキシン類は、下グラフに示すとおり法基準値を順守しています。



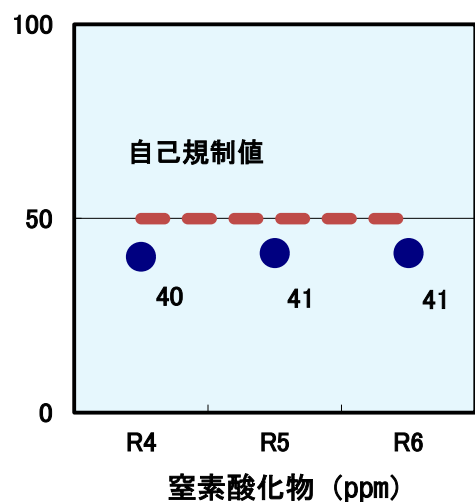
排ガス中のばいじん

ばいじんは焼却時に発生する微小なすすや燃えかすです。
ろ過式集じん器により除去しています。



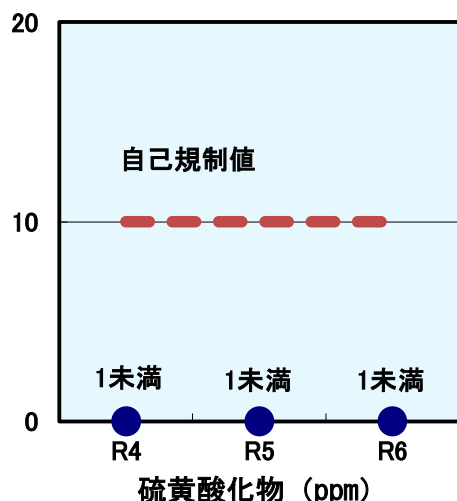
排ガス中の窒素酸化物

ごみや空気中に含まれる窒素が燃焼により酸化されて発生します。触媒反応塔で窒素酸化物を分解し、除去しています。



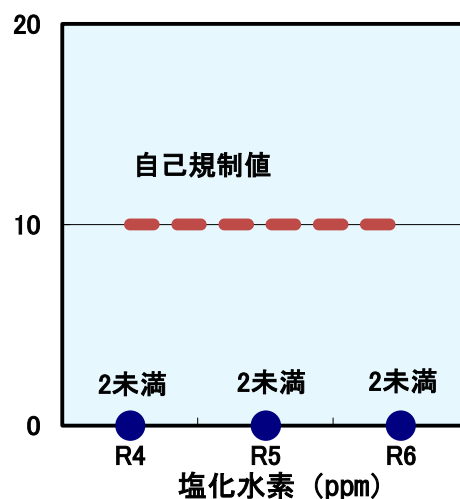
排ガス中の硫黄酸化物

ごみに含まれる硫黄分が燃焼により酸化されて発生します。ろ過式集じん器での消石灰の吹込みと洗煙設備で硫黄酸化物を中和し、除去しています。



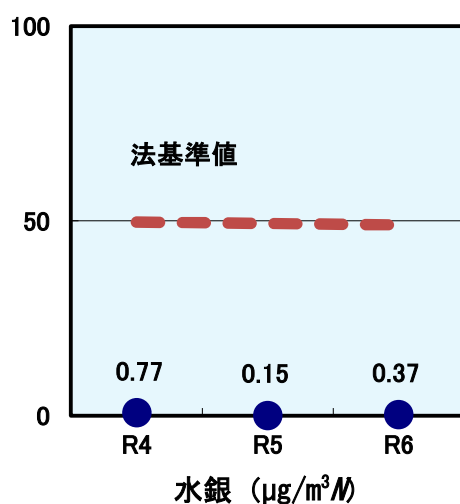
排ガス中の塩化水素

塩素を含むプラスチック等の焼却により発生します。ろ過式集じん器での消石灰の吹込みと洗煙設備で塩化水素を中和し、除去しています。



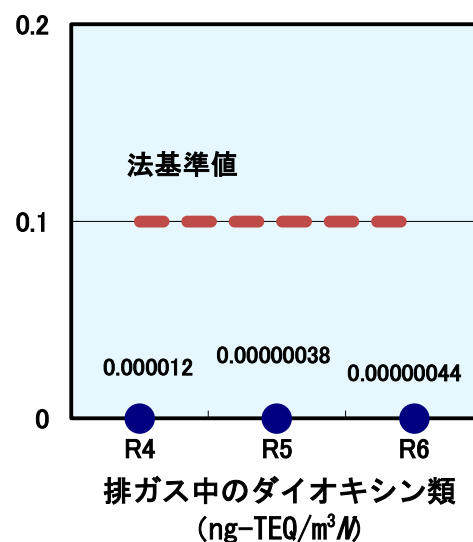
排ガス中の全水銀

水銀血圧計や蛍光灯等の水銀を含む製品が可燃ごみに紛れ込んでいると、焼却時に水銀が発生します。ろ過式集じん器で活性炭に吸着させ、洗煙設備で液体キレートにより除去しています。



排ガス中のダイオキシン類

850℃以上でのごみ焼却、一酸化炭素濃度、酸素濃度の常時監視等により発生を抑制しています。発生したダイオキシン類はろ過式集じん器により除去し、触媒反応塔で分解します。



品川清掃作業所の臭気

し尿等投入時や下水道投入工程の臭気を硫酸及び次亜塩素酸ソーダ・苛性ソーダで処理し、その後活性炭に臭気を吸着させ除去しています。令和6年度の測定結果は、脱臭装置出口及び敷地境界において法基準値を順守しています。

コミュニケーション

◆工場だより

工場の操業状況やトピックなどを掲載しています。当工場や品川区清掃事務所等で配布しています。下記のホームページに掲載しています。

<https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/kojo/shinagawa/index.html>



◆工場見学

品川清掃工場では、事業内容を理解していただくために工場見学を実施しています。

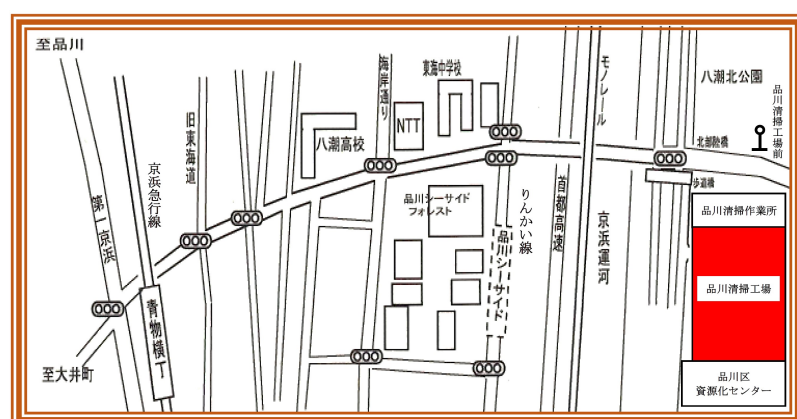
令和6年度は海外視察、小学生の団体見学や個人見学等を含め、合計で1,792名の見学者の方にご来場いただきました。

年度	一般住民 (先生含む)		小・中学生		高・大学生		官公庁 報道・議会		海外		民間		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
令和6	12	144	20	1,242	2	22	7	140	5	96	4	148	50	1,792

◆工場の概要・環境調査の結果等の公開

工場の概要、環境調査の結果、工場だより、環境報告書などの清掃工場に係わる環境情報を、当組合のホームページに掲載しています。

交通のご案内



- ◆東京臨海高速鉄道りんかい線
品川シーサイド駅より徒歩12分
- ◆京浜急行線
青物横丁駅より徒歩20分
- ◆都営バス
「品川駅港南口」
「大井町駅東口」より
「品川清掃工場前」下車徒歩5分

本報告書に関するご意見・お問合せは、下記までお願いします。

名 称 : 品川清掃工場 所 在 地 : 〒140-0003 東京都品川区八潮一丁目4番1号
 発行責任者 : 工場長 発行担当者 : 技術係長
 発行年月 : 令和7年12月
 電 話 : 03-3799-5353 F A X : 03-3799-5005

印刷物登録

令和7年度第110号